

## \* 編集後記 \*

本号は「農業分野でのジオシンセティックス」というキーワードで編集を進めました。

「展望」は、茨城大学毛利先生にご執筆いただき農業水利施設分野での施設の更新にかかわるジオシンセティックスの利用について述べていただきました。特にジオシンセティックスを用いた管更生の分野での技術開発は新しい用途開発として今後期待できそうです。

技術報文では農業分野でのジオシンセティックスの用途や実用化への研究についての貴重な情報をご執筆いただきました。パイプラインのメンテナンスのほか管路の屈折部分の地盤補強、竹材を有効利用した斜面補強や抗菌性能を有するドレーンパイプの話題など、農業分野へのジオシンセティックスの適用の参考にしていただける情報を掲載することができました。そのほか仮締切堤に用いる鋼製枠や高機能人工芝の開発と実用例についての話題を掲載しました。

勝見理事、桑野理事による理事会報告では理事会報告のほか GeoAmericas2016 についても報告をいただきました。過密スケジュールでのご出張の中で議事内容をご報告いただきましたことに感謝申し上げます。

今後とも会員の皆様にジオシンセティックスに関する最新の技術情報をご提供することができるような編集を心がけて参りたいと考えております。会員の皆様からのご意見や寄稿をお願い申し上げます。

最後に末筆ながら、ご多忙の中で原稿の執筆に際し、ご快諾して下さいました方々に心から御礼申し上げます。

本号担当；梶尾孝之、木幡行宏、内村太郎

### I G S 日本支部編集委員会(名簿)

委員長	木幡 行宏	室蘭工業大学大学院工学研究科くらし環境系領域社会基盤ユニット
幹事	西村 淳	三井化学産資(株) 環境資材事業部
幹事	梶尾 孝之	太陽工業(株)国土環境エンジニアリングカンパニー 技術センター
委員	内村 太郎	東京大学大学院工学系研究科
委員	江崎 孝二	ユニチカ(株)東京本社不織布技術部
委員	荻迫 栄治	清水建設(株)技術研究所
委員	川島 則子	(株)クラレ 原料資材第二部
委員	小浪 岳治	岡三リビック(株)技術開発部
委員	高橋 真一	(株)大林組技術研究所
委員	土橋 和敬	前田工織(株)福井本社環境資材事業部水環境保全推進部
委員	原田 尚幸	(株)銭高組技術本部技術研究所
委員	平泉 顕	ユニチカ(株)東京本社不織布技術部
委員	山中 光一	日本大学理工学部交通システム工学科
オブザーバ	松島 健一	(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所

### I G S 日本支部会員現在数 (2016年7月末現在)

個人会員 190名 学生会員 15名 特別会員 17社 合計 222名

平成28年7月25日

ジオシンセティックス技術情報 (国際ジオシンセティックス学会日本支部・会誌) Vol.32, No.2  
発行：国際ジオシンセティックス学会日本支部

〒112-0011 東京都文京区千石4丁目38番2号 (公益社団法人 地盤工学会内)  
事務連絡：〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255  
埼玉大学 レジリエント社会研究センター 桑野研究室内  
TEL 048-858-9239 FAX 048-858-9239 E-mail secret@jcigs.org